

平成22年4月14日

地域貢献活動支援報告書

創造開発研究センター長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 成岡 市

活動テーマ	三重県農村災害ボランティア（農村災害お助け隊員(仮称)）
実施期間	平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日
活動内容	<p>1)<u>組織の設置</u>：三重大学大学院生物資源学研究科共生環境学専攻内に活動母体を既設（H20年度開始、現在に至る）。農村災害ボランティア活動に関する規則・法令の再確認を行い、学生のボランティア参加手続き、同技術アドバイスをし、連携団体（三重県農水商工部農業基盤室、三重県土地改良事業団体連合会）と連絡・検討会を実施した。</p> <p>2)<u>学生ボランティアおよび三重県庁OBボランティアの募集</u>：H20年4月から募集開始（県庁広報、連合会HP、三重大学内広告等）しているが、H21年度新規分として、ボランティア講習会を開催後、学生(3年次主体)20名（H21年8月現在）の登録および登録証の発行を行った。</p> <p>3)<u>活動用具等の購入と保管</u>：ボランティアの安全確保と行動精度を向上させるために講座が使用登録をしている公用車に「車載GPS」を購入、装着した。</p> <p>4)<u>講習会および現地研修会の開催</u>：昨年度に引き続き、自然災害現場での行動方法、災害査定方法、現地測量方法などの講習を行い、現地災害現場（津市内）での実務研修を実施した（H22.1.7）。</p> <p>5)<u>普及活動</u>：三重県農水商工部により「農村災害ボランティア」の広報活動を強化した（http://www.miedoren.or.jp/home/volunt/index.html）。</p> <p>6)<u>その他</u>：マニュアル作成などは、他機関との連絡調整が必要であるこ</p>

	<p>とがわかり、H22年度の活動に継続することになった。</p> <p>②地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>連携実施母体(三重大学、三重県庁、三重県土地改良事業団体連合会)の組織体制を拠点にして、三重県内に展開する県庁および連合会のネットワークを活用して「地域の発展・活性化・広がり」を強化した。</p> <p>③共同実施者との連携状況</p> <p>上記三者の連携実施母体の連携は前年度に続いて密に行われた。H16年度から取り組んでいる「農業農村に関する三重県および三重大学との連携推進協議会」による継続性ならびに逐次改善性は確保されている。</p> <p>④大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>学生ボランティア活動は、自然災害への対処および復興への意識を高め、知識と経験の豊かな県庁 OB ボランティアがともに活動することにより、きわめて実践性の高い教育効果があがることが明らかになった。</p> <p>⑤イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）</p> <p>研修会(H22.1.7)を三重大学生物資源学部および多気町の2ヶ所の被災現場で実施（災害査定資料作成のための現場測量）。学生 14 名・教員 2 名・学外連携団体 10 余名参加。</p>
継続希望の有無	3年目の申請が可能でしたら、継続を強く希望します